

令和4年度 特色ある区づくり事業 委員アイデア及び担当課の考え方一覧

提案者	整理番号	提案内容	担当課	担当課の考え方
総務部会	1	<p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・商業地域が巻地区に集中しており、公共交通も路線・本数など課題が多い。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・買い物バスやコミュニティバスの運行 	地域総務課(企画・文化スポーツG)	<ul style="list-style-type: none"> ・ご指摘のとおり、西蒲区では商業施設等が巻地区に集中しているため、路線バス等も巻駅を中心に放射状に運行しています。 巻駅発着路線数:8路線 巻駅発着便数 :91便/日(平日) ・担当課では、経路を延伸して巻地区の商業施設(原信、リオン・ドール)に新たなバス停を設置する等、改善、見直しを実施しており、今後も将来にわたり持続可能な交通環境を検討していきます。 ・具体的なご要望がありましたら、担当課までご連絡ください。 ・なお、バスの利用者数は長年減少が続いています。地域の移動手段を維持するため、積極的な利用をお願いいたします。
	2	<p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・5町村の合併から16年、未だに区としての一体感が感じられない。 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・秋田県能代市において、東北の短い夏が行くのを惜しむ「東北おなごりフェスティバル」と称する東北6県の祭りを一同に会するお祭りがあった(1988~2019年)。参加団体は12団体前後、東北のみならず浅草カーニバルなどの参加もあり、最大観客動員数は25万人であった。2020年はコロナ禍、資金難、主催団体の解散等で現在は行われていない。 ・2011年3月11日に発生した東北大震災の鎮魂と復興を願い、同年より2016年まで東北6県で持ち回りで「東北六魂祭」が開催され2017年より「東北絆まつり」へと引き継がれている。 西蒲区も旧5町村の絆を深めるべく、東北の祭りを参考に「西蒲絆まつり」を開催しましょう。 	地域総務課 産業観光課	<p>区としての一体感を醸成するために、区内有志の方が、「にしかんプロジェクト(仮)」として、旧5町村の絆を深めるべくテイクアウトまつり、花火などの様々な取り組みを行っていますので、そういった民間における各地域間のまつりの連携について支援していきます。</p> <p>また、区の一休感醸成事業については、引き続き検討していきます。</p>
保健福祉部会	3	<p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ごみの分別問題 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・HP等でゴミの分別や処理方法の周知を行う 	区民生活課	<p>ごみの分け方・出し方などはHP等に掲載し、分別の周知を図っています。</p> <p>HPなどでは、パソコンやスマートフォンでごみの分け方や出し方を調べることのできるサイト「さんあ〜る」があります。</p> <p>また、「ごみ分別百科事典」を窓口で希望者に配布しています。</p>
	4	<p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・違反ごみ・ポイ捨て問題 <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・ポイ捨て禁止看板及びのぼり旗の配布 ・違反ごみを一時的に保管するBOXやネットの配布 	区民生活課	<ul style="list-style-type: none"> ・ぼい捨て禁止看板やのぼり旗は窓口で配布しています。 ・ごみ集積場は自治会の所有であり、管理も自治会が行っています。 ごみの分別に誤りがあり収集できなかったごみは、出した方に誤りをわかってもらい、分別のし直しを促すために理由を書いた赤いシールを貼って、ごみ集積場に残しておきます。そのため、BOXやネットの配布は行っていません。
	5	<p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康寿命延伸に向けた取り組み <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・健康に関する情報を区役所のTVで流す 	健康福祉課	<p>西蒲区は脳血管疾患で亡くなる方が多いという健康課題があります。この課題解決につなげるため「減塩」「運動」「お口の健康」に力を入れて取り組んでいます。</p> <p>市政モニターへは、令和4年度より対応できるよう準備を進めています。</p>
	6	<p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・権利擁護について <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・身寄りのない人への支援に関するガイドラインの制定 	健康福祉課	<p>身寄りのない人、家族や親族がいない人、家族や親族がいても連絡が付かない人や関係性の問題から支援を受けられない人に起こりうる問題として、災害時及び救急搬送時の緊急連絡先や亡くなった際の各種処分が考えられます。県内では魚沼市がガイドラインを作成していますが、他都市の状況などを基に検討していきたいと思えます。</p>

提案者	整理番号	提案内容	担当課	担当課の考え方
保健福祉部会	7	【地域課題】 ・高齢化について	健康福祉課	<p>《現状認識》 西蒲区は、8区で最も面積が広く集落や集客施設が分散していますが、高齢者の移動手段の確保は区全体の課題と認識しています。</p> <p>病院への送迎は、</p> <ul style="list-style-type: none"> ・希望者は区内一円にいらっしやると思われること、 ・病院や診療所は区内に点在していること、 ・送りの時刻、迎えの時刻は利用者によって異なること <p>などからして、一口に病院への送迎といっても、求めるサービス(移動起点と目的地(〇〇病院)、送りの時刻、迎えの時刻)は一人ひとり異なると考えられます。実施には同一の需要が一定量以上必要であり、予約運行を含め細分化された要望に対応したバスの運行は難しいものと考えます。</p> <p>(なお、福祉巡回バスについては、対象者を高齢者限定から一般の方へ利用を拡大する見直し(一般化)を求められています。このような状況において、福祉バスの運行拡大を図ることは厳しいと認識しております。</p> <p>また、一般化にあたっては、需要見込み、路線バス・区バスとのすみわけ、区全体の交通体系、運行請負可能な事業者の有無などを検討する必要があります。)</p>
		【課題】 ・福祉バス等を利用して病院への送迎を行う。(定期的な利用がなければデマンド対応)		
保健福祉部会	8	【地域課題】 ・子育て支援について	健康福祉課	<ul style="list-style-type: none"> ・新潟市では各区健康福祉課に「妊娠・子育てほっとステーション」を設置し、妊娠から出産、子育てまでの相談にワンストップで対応する窓口を設置しています。 ・また、地域保健福祉センターでは育児相談として月1回、保健師などが個別で相談に対応するほか、栄養士や歯科衛生士による相談日もあります。 ・このほか、子育て家庭への育児支援を目的に、保育園に併設するなどにより区内に6か所に設置している地域子育て支援センターでは、子育て相談のほか、育児講座や親子遊びなどの催し、フリースペースの開放などを行っています。 ・支援センター併設園以外の市立保育園でも、月1回の園開放において子育て相談、遊びの提案、園児とのふれあい等を行っています。 <p>開館・開園時間中であれば、予約なしでご相談できますので、お気軽にお越しください。なお、電話でのご相談もお受けしていますので、ご利用いただきたいと思います。</p>
		【課題】 ・気軽に子育てについて相談できる窓口の設置		
まちづくり・産業部会	9	【地域課題】 ・合併してから10年以上経つが、ほとんどの施策がまだまだ地域単位であり、区内で共通に推進できる施策が必要。	産業観光課	<p>現在、なないろ野菜生産者は30名ほどで、巻地区を中心とした高齢な生産者が主体です。今後は中堅農家へ積極的に栽培をPRできる収支モデルを示すことを目標とし、区内全域での普及をすすめ、他の直売所での販売もできるようにしていきます。</p> <p>生産者や生産量が増え、認知が進んだ頃に市民への専用菜園の貸出や農業体験なども今後検討していきます。</p> <p>昨年からフードメッセに出展し、卸や小売り業者等と情報交換を行ったり、飲食店に野菜を提供しモニタリング調査を実施し、販路拡大の方策について検討を進めています。</p> <p>コロナ禍ではありますが、可能な限り販路拡大のため各種イベントを開催し、需要の喚起を図っていきます。</p>
		【提案】 ・「にしかんなないろ野菜」のブランド化を推進するためには、区内全域での普及を進めるとともに直売所等で販売PRする。 ・「にしかんなないろ野菜」について、ターゲットを明確にした、継続性のある事業に取り組むとともに、なないろ野菜を育てる菜園の貸出などを行うことで、周知を図るべきではないか。 ・レストラン等でなないろ野菜を活用しようにも、流通量が少ないため活用が困難であるため、販路を拡大してほしい。 ・また、当区には「中之口農業体験公園」があり、野菜の種まき、植え付けから収穫までの農業体験を開いている。このような施設の有効活用を図り、参加者から農業に興味を持ってもらう。		
まちづくり・産業部会	10	【地域課題】 ・各地区の事はよく知っていると思いますが、西蒲区全体の良さ、伝統、文化について西蒲区内の小中学生があまり知らないと思います。(西蒲区としての一体感が不足している)	地域総務課 産業観光課	<p>現在、旧巻町、岩室村エリアの小中学校は、まち歩きガイドと一緒に歴史・文化に触れる体験としてまち歩きを行っています。</p> <p>また、修学旅行生の受け入れ体制の強化で宿や観光協会と連携し、SDGsを取り入れた体験コンテンツを造成しておりますので、区内の各小中高校にも積極的に利用していただきたいと思います。校外学習については、教育活動のねらいを定め、学校のカリキュラムとして体系的に計画されているため、すぐに取り入れるのは難しいと考えられます。</p> <p>そのため、関係機関と連携し上記のような体験コンテンツを校外学習に取り入れていただけるよう、学校への周知方法について検討が必要であると考えます。</p>
		【提案】 ・西蒲区全体の良さをPR出来るように、西蒲区内の小中高校に対して体験型学習(修学旅行プラン・日帰り体験学習プラン)など作って、地元の小中高校生から西蒲区の良さを体験してもらうことで、西蒲区として一体感が持てるようになる。 ・教育支援センターより各小中高校に体験学習プランについて利用していただけるよう依頼していただく。 ・各学校の体験学習、修学旅行等についての内容を調査していただく。		

提案者	整理番号	提案内容	担当課	担当課の考え方
まちづくり・産業部会	11	<p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家・空き公共施設の対策 	健康福祉課 産業観光課	<p>旧間瀬保育園については、併設されている間瀬すこやかセンターやすらぎとの一体的な施設です。それら施設の今後の活用については、特定の所属だけではなく、区役所全体の課題として引き続き検討していきたいと考えています。</p> <p>間瀬の観光資源の魅力については、情報発信の機会を捉え、観光関係者と誘客に活かさないか検討しています。また引き続き各種媒体で発信してまいります。</p>
		<p>【提案】</p> <p>間瀬すこやかセンターやすらぎに併設されている旧間瀬保育園は閉館して数年になるが未だ施設利用には至らない。海岸線を持つ間瀬の魅力を発信する場所として有効活用が望めないか提案したい。</p> <p>市で行った各区のアンケート調査の結果、西蒲区では『地域の活性化』が最多となっている。年々過疎化が進み、空家が増えている間瀬の集落を活性化し、ひいては定住人口の増加につながることを視野に入れ、旧間瀬保育園の施設利用の解放を提案したい。</p> <p>間瀬は海水浴場、夕日の美しさ、そして海底火山の地殻変動で隆起した痕跡が多数存在する学術的にも貴重な海岸線である。西蒲の魅力を施設利用と併せて拡大し発信したい。</p>		
吉田委員	12	<p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2005年新潟市に編入、2007年新潟市西蒲区が設置。2022年が西蒲区になって15年。いまだに、旧市町村単位での活動が多く西蒲区としての一体化がなかなか難しい状況にあると思います。 ・そこで西蒲区設置15年事業として「にしかんまつり」を考えました。 	地域総務課 産業観光課	<p>区としての一体感を醸成するために、区内有志の方が、「にしかんプロジェクト(仮)」として、旧5町村の絆を深めるべくテイクアウトまつり、花火などの様々な取り組みを行っていますので、そういった民間における各地域間のまつりの連携について支援していきます。</p> <p>また、区の一体感醸成事業については、引き続き検討していきます。</p>
		<p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・2022年(令和4年)に、西蒲区設置15年記念事業として西蒲区としての全体事業を提案致します。 「にしかんまつり」 ・各地の伝統的な催し物を一同に集めて発表する事により皆さんからより一層知って頂く場をつくる ・西蒲区内の飲食店・お菓子店・伝統工芸品などを一同に販売 ・実行委員会を作って、子育て世代からも入っていただく <p>※効果</p> <p>西蒲区全体で実行委員会をつくる事によって、各地域の皆様と横のつながりができ、今後、各地域のお祭り、行事などで交流ができるようになる。また、実行委員に子育て世代も入っていただく事で、西蒲区に対して関心をもってくれるようになると思います。次年度から、地域を回って開催(各祭り等で)</p> <p>※その他</p> <p>感染対策についてもしっかりと考える</p>		
黒川委員	13	<p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業経営者の高齢化と後継者不足から今後耕作放棄土地が拡大するのではないか。 	産業観光課	<p>農家の高齢化は全国的にも問題になっており、新潟市においても人・農地プランの実質化など、未来へつなぐ農業経営を確立するため、様々な事業に取り組んでいます。離農する方の農地が耕作放棄地にならないよう、地域の担い手への農地集積を積極的に行い、また、担い手となる認定農業者への支援や新規農業者の発掘・育成など様々な角度から持続可能な農業のあり方を検討し、取り組みを進めているところです。</p> <p>ご提案いただいた「地域おこし協力隊」の導入についても、担い手対策のひとつとして研究し、引き続き農業経営安定化に向けた土台づくり、支援に努めてまいります。</p>
		<p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・農業に関心を持つ若者もいるので地域おこし協力隊の導入を積極的に考える。 		
黒川委員	14	<p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の増加 	地域総務課(地域・安心安全G)	<p>空き家相談があった物件については、本庁(住環境政策課、建築行政課)と情報共有してあります。</p>
		<p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家情報の一元化ができないか。 		

提案者	整理番号	提案内容	担当課	担当課の考え方
黒川委員	15	<p>【地域課題】 ・角田浜地区上堰湯など自然の魅力や北国街道等の文化や魅力をPR。</p> <p>.....</p> <p>【提案】 ・角田浜地区上堰湯など自然の魅力や北国街道等の文化や魅力をPR。</p>	産業観光課	人気のまち歩きなどを通して区内外にも積極的にPRし、引き続き魅力発信に努めてまいります。
	16	<p>【地域課題】 ・巻、潟東インターが新潟市の入口であり、県都まで30分ほどという立地条件を生かした地域開発</p> <p>.....</p> <p>【提案】 ・巻、潟東インター付近は現在、物流拠点として開発が進んでいるようであるが、人の定着をのぞむことは難しいように思います。商業施設の誘致で住宅地開発につなげたり、西蒲区を紹介する「道の駅」の設置をするなど西蒲区は自然災害の少ない住みやすい地域であることをPR。</p>	地域総務課 産業観光課 建設課	定住人口を促進するために、住宅開発や商業施設の誘致については、関係課と協議していきます。また、地域の魅力の発信については、引き続き効果的な方法を今後検討していきます。
小林（正）委員	17	<p>【地域課題】 ・西蒲区の郷土資料館の一体化を ○資料館が各地域に分散している。一か所に集める。 ○現在消えゆく文化財資料が一か所に保存されていない。 ○今各地域に有る文化財、文化資料を保存するとともに収集する必要があると思う。</p> <p>.....</p> <p>【提案】 ・史料館の拡張と各地域の史料を一体化し、西蒲区の歴史書及び文化財を公募し、展示等をする必要があると思います。</p>	地域総務課(企画・文化スポーツG)	郷土資料館の拡張と各地域の史料の一体化については、施設・設備・管理体制・予算措置など、検討しなければならない事項が多くあるため、施設再編に合わせて検討していきます。
竹内委員	18	<p>【地域課題】 地域に残したい伝統文化を継承していくために ・地域ではさまざまな伝統文化が受け継がれ今日がありますが、これらの振興を図るには、継承者となる子どもたちへの支援が大切であると考えます。 ・しかし、時代の変化や少子化などにより、これらの伝統文化を子どもたちに継承していくことの困難さが現実となっています。 ・新型コロナウイルス禍で昨年に続き今年も地域の祭りが縮小あるいは中止を余儀なくされ、地域では伝統文化の継承に危機感が広まった夏となりました。練習の場や披露する祭りの場がないことで、子どもたちは伝統の技も忘れてしまい実績を積んだ中学生は卒業してしまいます。今、後世に伝えていくための対策が求められています。</p> <p>.....</p> <p>【提案】 ・伝統文化である行事は地域コミュニティの維持や地域間の絆を育み、地域の暮らしや誇りとともにあると考えます。コロナ感染拡大の昨今だけに改めて伝統文化の価値を再認識し、その現状や歴史、経緯等の詳細を十分に把握したうえで、目的にあった取り組みが必要と考えます。なお、児童、生徒の育成については学校と地域が連携を図り年間を通して取り組むことが望ましいと考えます。</p>	地域総務課(企画・文化スポーツG) 産業観光課	<p>伝統文化を継承するためには、地域の方々の協力がなければできません。地域のお祭り等で発表したりできればよいと思いますが、コロナ禍では発表の場も限られ、練習等も難しい状況かと思えます。委員のおっしゃるとおり地域と学校が連携して取り組んでいただくことが望ましいと考えます。</p> <p>地域の活性化や観光振興を図るため、各地区の伝統文化のまつりの保存・普及を支援してまいります。</p>
古島委員（総務部会）	19	<p>【地域課題】 西蒲区の各地域に存在もしくは伝承される食品を調査し西蒲区としての食文化マップを作成する。 西蒲区内の地域間であり知られていない食物もあり、将来にわたり伝承される機会も確定的ではないため、どこかのタイミングで網羅して記録しておく必要があると思う。その食品の時代背景もできる範囲で調査する。</p> <p>.....</p> <p>【提案】 調査範囲は①地元で伝わる伝統食品と②郷土で育った食品製造業など2体系とする。 ①例：漬物類、伝統的な調理食品類 ②例：酒蔵、味噌、麴、醤油、製パン、製菓などの食品製造業</p> <p>これらの調査結果をWeb上で西蒲区の白地図に落とし込み、区の観光や集客事業に利用する。 また、レイヤーを重ねることにより地域で活動する任意団体の情報や農水産物、工業製品情報を重ねていくことができる。</p> <p>以上提案させていただきます。</p>	産業観光課	<p>新潟市では食文化創造都市推進プロジェクト支援事業（担当：食と花の推進課）を実施しており、新潟市の食や食文化による創造的なまちづくりを推進するため、民間の知恵とネットワークを基にした地域の活力と産業の振興に寄与する取組を支援しています。カモねぎまつりや、越王おけさ柿、いちじく越の雫も支援対象となりました。</p> <p>西蒲区では、味噌作り教室を開催し伝統の継承を目指しています。新潟県でも、なりわいの匠として、きりあえやけんさ焼き、からし巻作りなどの農水産物加工の指導する技能認定を行っています。</p> <p>自治協及び食品製造業種などどう連携し、どのようなプロジェクトができるのか研究を進めていきます。</p>

提案者	整理番号	提案内容	担当課	担当課の考え方
田中(久)委員	20	<p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家問題 ・防犯 ・人口流出 <hr/> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・空き家の所有者に空き家活用の意志があるかの確認をしてもらい、貸し家や売り家にしてもいいという人がいたら、それをデータバンク化してマッチングしてもらいたい。手を加えず、そのまま住んでほしいとか、リノベ(リフォーム)するならどこまでならOKとか、細かい条件までケアしてもらえるとありがたいと思っています。 	地域総務課(地域・安心安全G)	<p>地域から情報提供のあった空き家については、その所有者等に現況の情報提供および適正管理についての文書指導を行っております。所有者等から連絡がない場合は再送し、空き家の活用等意向シートを同封しております。現状、データバンク化は行っておりませんが、他都市の状況や情報を収集し、空き家に関する庁内連絡調整会議の中で提案していきます。</p>
原委員	21	<p>【地域課題】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・塾が遠い高い <hr/> <p>【提案】</p> <ul style="list-style-type: none"> ・週1～月1で小学校を借り、小学校～大人まで勉強できるスペースを開所。 ・静かに勉強する時間と教えてもらえる時間の両方をつくる ・たまに西蒲区の魅力の紹介や人生発表(インターネットにも溢れているが、近くの人というのがいいかなと思う。) 	地域総務課(地域・安心安全G)	<p>地域活用人材育成の一環として平成27年度より小学生を対象とした放課後学習支援の取組を行っています。これは区内在住の小中学校教員OBが中心となり地域の方が支援員や補助員としてサポートするもので、平成30年度からは地域コミュニティ協議会が主催となり、より地域ぐるみで子どもたちを支援しています。地域総務課ではこの事業について地域活動補助金を支出し、教育支援センターと連携を取って活動を支援しています。子どもたちの学習支援、地域との交流の場として今後も継続していきたいと考えています。</p> <p>(R元実績) 会場：岩室小、和納小、中之口東小、漆山小、巻北小、巻南小 開催回数は各校により異なる ※R2、R3はコロナウイルス感染症拡大防止のため中止</p>